授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
保育実習指導Ⅰ（施設）	1・2	通年	演習	2	西田雅美、松﨑優、中萩知治

〇授業の到達目標及びテーマ

１．実習の意義、目的を理解する

２．実習の内容を理解し、自らの実習課題を明確にする。

３．実習施設における子ども（利用者）の人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護、守秘義務等について理解する。

４．実習の計画や実践、記録、評価などの方法や内容について理解する。

５．実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。

〇授業の概要

保育実習実施基準に示された保育実習Ⅰ（保育所・施設）の意義と目的、その内容について理解を図るとともに、自らの実習課題を明確にする。合わせて実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に学習する。さらに事後指導においては、実習の総括と自己評価を行い、今後の課題や目標を明確にする。

〇授業計画

第１回　保育実習Ⅰの意義と目的の理解

第２回　実習の概要（厚生労働省より示されている告示内容等について）

第３回　実習の内容（保育所）

第４回　実習の内容（施設）

第５回　実習生としての留意事項

第６回　実習手続きについて、実習施設の決定

第７回　児童福祉施設についての理解（乳児院、母子生活支援施設）

第８回　児童福祉施設についての理解（児童養護施設、児童自立支援施設）

第９回　児童福祉施設についての理解（児童心理施設、障がい児通所・入所施設）

第10回　社会福祉施設についての理解（障がい者支援施設等）

第11回　実習施設の理解（自主実習、オリエンテーションについて）

第12回　実習課題の設定及び課題達成のための方法（グループ活動）

第13回　実習記録の意義・方法の理解

第14回　権利擁護、プライバシーの保護、守秘義務について

第15回　施設実習のまとめ

定期試験

※2年生に進級後、事後指導を集中講義で実施する

〇テキスト

新保育基本シリーズ⑳　「保育実習」　公益財団法人児童育成協会監修　中央法規

○参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館
○学生に対する評価 試験：60％　提出課題等：25％　受講態度：15％